

デジ活セミナーin北海道

日本で初めて
スマホ普及率 100%を目指す

『村まるごとデジタル化事業』

令和5年7月28日
作成：日高村役場企画課 安岡

ル・コルビュジエとは？

Le Corbusier
 勒·柯布西耶其人
 르 코르뷔지에란



20世紀を代表する建築家の一人で、出身国のスイスからパリに拠点を移して活躍しました。建築のみならず絵画、彫刻、家具なども手がけ、個人住宅から国連ビルの原案まで幅広い創作活動を展開しています。合理的、機能的で明快なデザイン原理を絵画、建築、都市等において研究し、20世紀の建築、都市計画に大きな影響を与えました。「近代建築の5つの要点」(ピロティ、屋上庭園、平面開放、自由なファサード)を提唱し、近代建築の発展に貢献しています。

One of the 20th century's leading architects, native Switzerland to set up an architectural practice in Paris. In addition to architecture, he turned his hand to other fields such as painting, sculpture, and furniture design. His work encompassed a wide range of projects, from private houses to the original plan for the United Nations Secretariat Building. He studied and developed clear design principles in painting, architecture, and urban planning. He proposed the 'Five Points of Modern Architecture' (pilotis, roof garden, open plan, free facade) and contributed to the development of modern architecture.

出生于瑞士，但以巴黎为据点，在法国活跃。除了建筑，他还涉足绘画、雕塑、家具设计等领域。他的工作范围广泛，从私人住宅到联合国秘书处大楼的原案。他在绘画、建筑、城市规划等方面进行了研究，并提出了“现代建筑的五个要点”（柱廊、屋顶花园、平面开放、自由立面）。他的贡献在于推动了现代建筑的发展。

중 한 명이며 스위스에서 태어나 파리에 거점을 옮겨 회화, 조각, 가구 등도 다루었으며 개인 주택부터 UN 건물 창작활동을 전개하고 있습니다. 합리적이고 기능적이며 명쾌한 도시 등에서 추구하여 20세기의 건축, 도시계획에 큰 영향을 미친 5원칙(필로티, 옥상정원, 자유로운 평면, 수평창, 자유로운 대 건축의 아버지 중 한 명으로 손꼽힙니다.

3

発表者の紹介

- 日高村役場企画課
- 安岡 周総 (まさふさ)

「実行力」		「影響力」		「人間関係構築力」		「戦略的思考力」	
20 アレンジ	21 目標志向	14 コミュニケーション	11 社交性	12 ポジティブ	28 親密性	7 内省	8 学習欲
26 信念	34 規律性	17 指令性	25 競争性	5 個別化	32 調和性	22 分析思考	2 戦略性
33 公平性	23 責任感	13 最上志向	10 自己確信	19 共感性	18 運命思考	15 原点思考	6 未来志向
29 回復志向	9 達成欲	4 活発性	27 自我	30 包含	16 適応性	3 収集心	1 着想
31 慎重さ				24 成長促進			

日高村の紹介



人口数：4,812人
高齢者の割合：43%
子どもの割合：9%





本日の流れ

1. はじめに
2. 背景・課題
3. 概要
4. 成果
5. 終わりに

01

はじめに

私たち日高村は

日本で、はじめて

スマートフォン普及率100%を目指す

自治体宣言をしました

住民のエンパワーメント

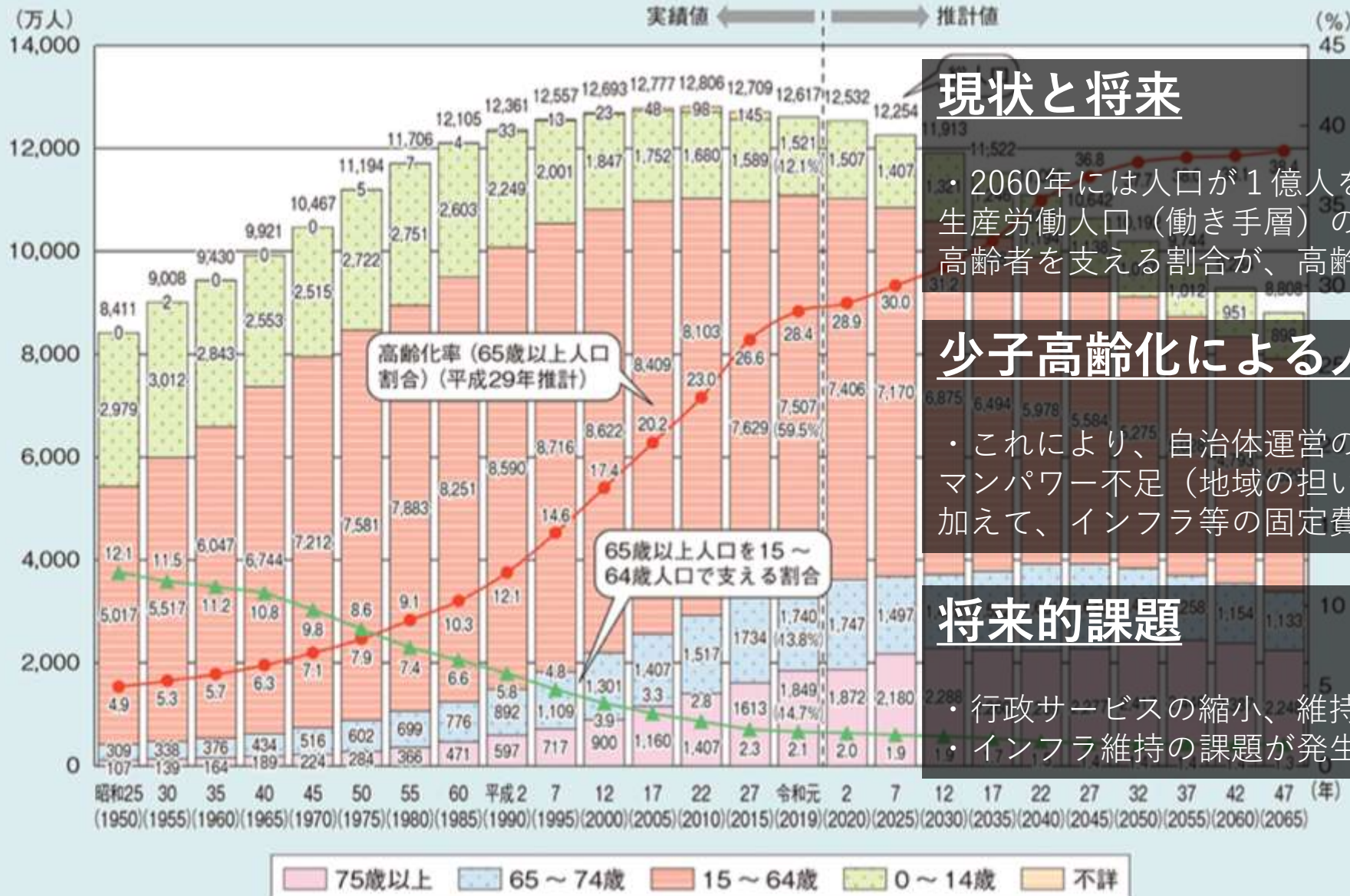
公助、共助、自助のバランスで地域が維持されてきました。
人口減少時代、地域の担い手やサービスが縮小していく未来に
3つのバランスの再構築が必要です。

地域を維持する為に、地域に対して力を発揮できる
「気持ち」や「できること」、そして「環境」が重要です。
まずは、身近なところから「自分でもできる」という自信が大事です。
「住民のエンパワーメント」は、地方自治の本旨に則り
地域を今後どう維持していくのかという問いの
本質的な部分だと思っています。

02

背景 · 課題

デジタル化推進の社会的背景



現状と将来

・2060年には人口が1億人を割り、高齢化率38%を超え、生産労働人口（働き手層）の減少から、社会保障費制度等での高齢者を支える割合が、高齢者一人に対して、1.4人に。

少子高齢化による人口減少時代

・これにより、自治体運営のための歳入（税収）の減少やマンパワー不足（地域の担い手や行政運営自体）が発生。加えて、インフラ等の固定費率の増加

将来的課題

- ・行政サービスの縮小、維持困難
- ・インフラ維持の課題が発生

行政サービスを維持継続するために圧倒的に不足する

カネ と ヒト

解決手法として、デジタル化・DX化による効率化・費用削減が必要

課題：日本全体の取組

DXの取組が加速

取組

デジタル庁設置

デジタル田園都市国家構想及び交付金等によるデジタル活用やDXの取組促進

マイナンバー制度

2023年5月：マイナ機能がスマホに搭載

⇒スマホ所有≒マイナンバーカード所有

2024年秋頃：マイナカードに保険証統合

⇒実質的なマイナンバーカード取得の義務化

【デジタル化の流れ】

2026年3月：3G回線の停波

⇒スマホ難民が爆発的に増えると考ええる。

真に必要な取組

地域・社会のDX化のための
All ready化

課題：サマリー

① デジタル化・DX化のための
ソリューション導入だけでは不十分

② 並行して、デジタルデバイド層の解消の取組必須

- ✓ 2023年：マイナ機能がスマホに搭載
- ✓ 2024年：マイナカードに保険証統合
- ✓ 2026年：3月全キャリアの3G停波

①と②の取組成果が出て初めて「効果」の発現がある。

※効果：デジタルの強み

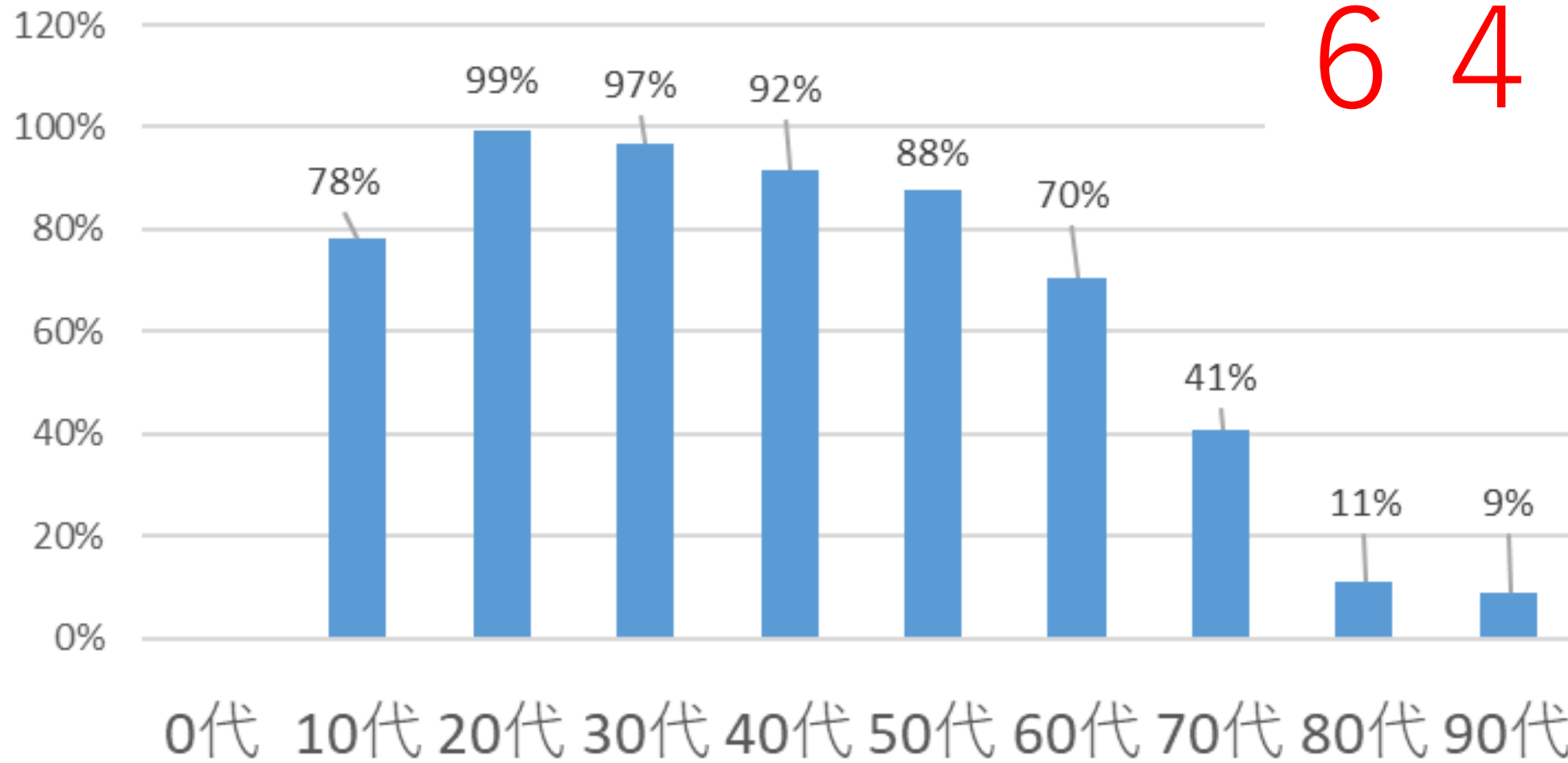
03

概要

普及率（令和2年5月調査時）

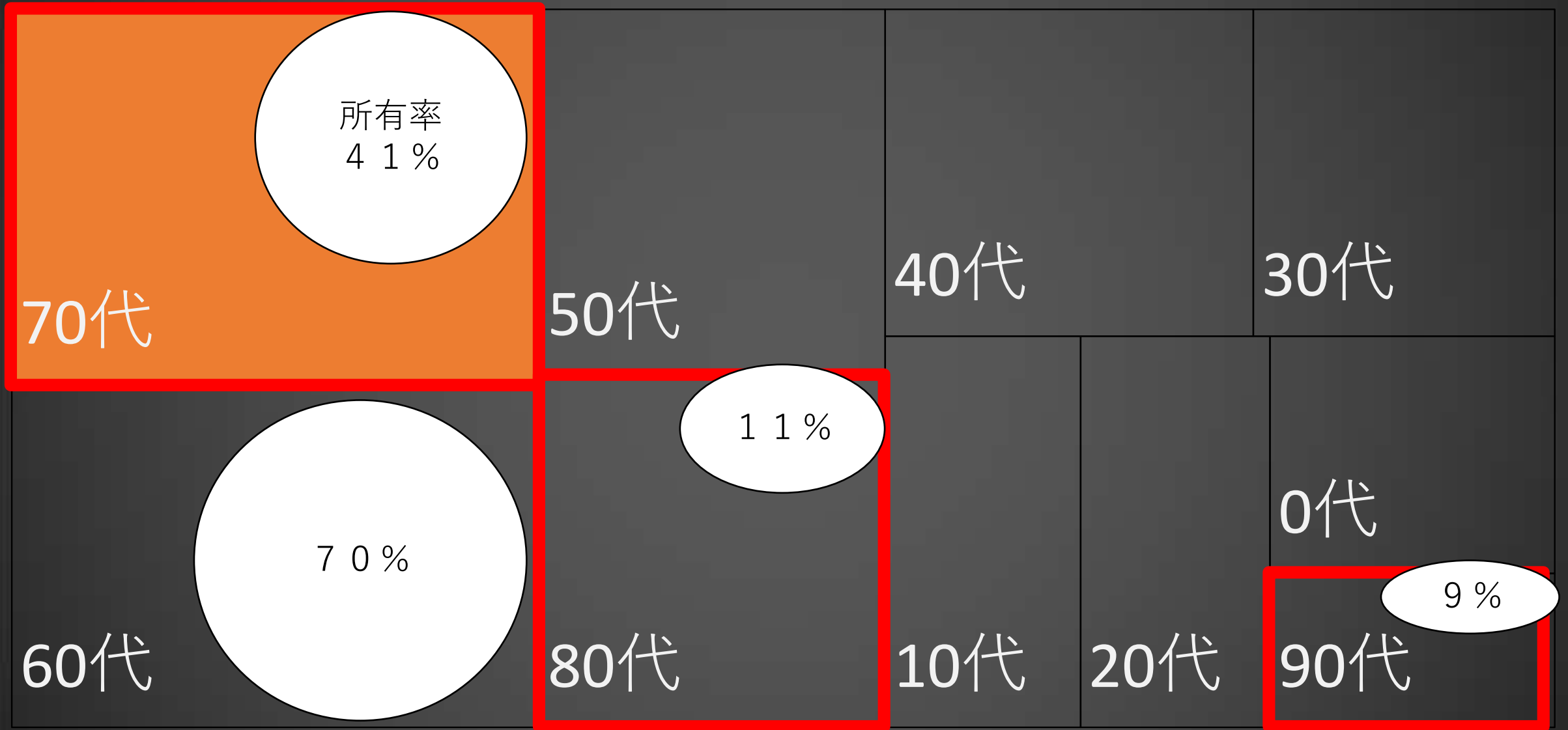
年代別所有率

所有率平均



64.5%

人口分布率に重ねると



デジタルディバイド層

高齢者層 かつ 低所得者層

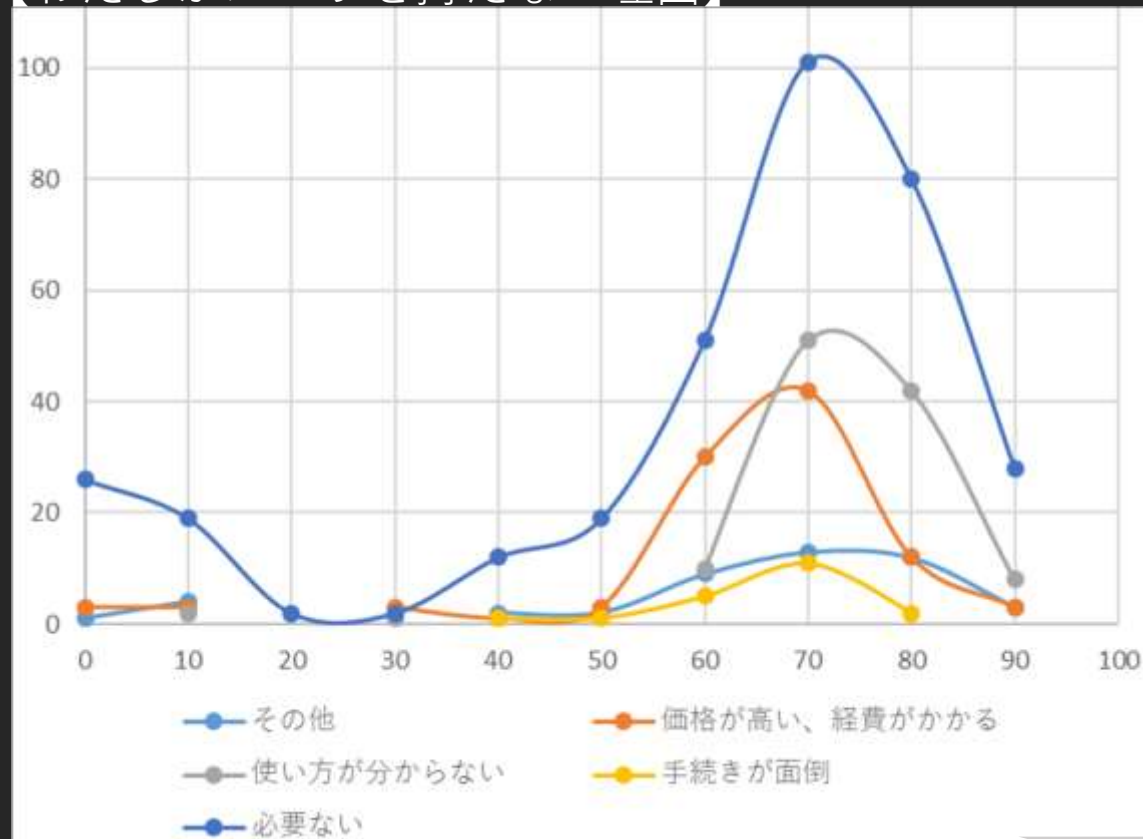
行政サービスヘビーユーザー

DX化後、影響が大きい = 解消されないとDX化できない

デジタルディバイド層のニーズ

DD層解消の再定義：「スマホを持ち、常時オンライン化状態」

【わたしがスマホを持たない理由】



第1位：必要ない

- ・デジタルディバイドの前に、元々、情報弱者
- ・現状維持バイアスが強い

第2位：使い方がわからない

- ・低い自己肯定感
- ・認知的不協和

第3位：価格が高い

- ・認知の歪み
- ・端末購入費と月額使用料の2種類

個別のニーズではなく、
個人によって複合的でそれぞれの濃度が異なる

スマホ購入支援やスマホ教室だけでなく、
複数の支援事業が同時に必要

全体イメージ

ソサエティ5.0
スタート準備

シームレスな
データ駆動社会

スタートアップや実証事業の
展開支援

基盤やデータを活用した事業改善・改
革

スマホアクティブ率

100%

・・・コミュニケーション方法のデジタル活用

スマホ普及率

100%

・・・デジタル化（スマホ等普及）

村まるごとデジタル化事業

日高村が
宣言したこと

日本全国に向けて

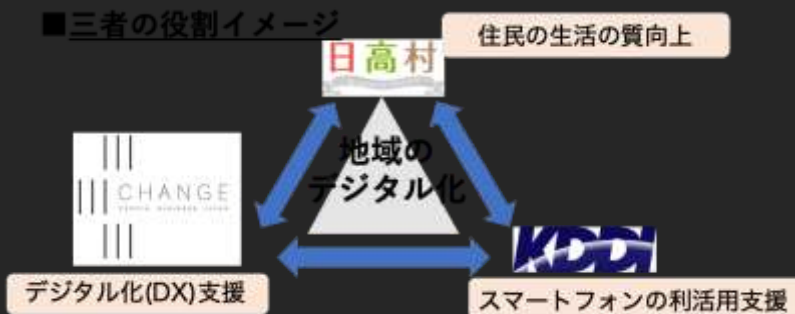
「日本で初めてスマートフォン普及率100%を目指す村」を宣言

2021年5月24日

日高村、KDDI株式会社、株式会社チェンジの三者にて、スマホ普及率100%を目指し、協定を締結



県内のニュース番組でも取組みが紹介



2021年6月1日～

スマホ普及100%を目指し、日高村保健センター、村の駅ひだか、サンシャイン日高にて、auショップの協力による出張販売を開始。

新規契約/130件（10月現在時点）



住民向けチラシ



キャンペーン用スマホ（例）

村まるごとデジタル化事業の概要

アプリケーションを活用した生活の質向上

健康事業

ポケットヘルスケア
(KDDI)



- 日高村住民の健康活動の促進を支援
- 利用者には健康活動に応じたインセンティブを発行し、利用促進に向けた動機づけを促す

防災事業

高知防災
(高知県)



- 災害に対する個人の情報武装の一貫としての利用を想定
- 防災に対する意識を高めることに加え、地域としての安全意識の向上を目指す

情報事業

LINE
(Z HD)



- 住民同士または住民と自治体のコミュニケーションツールとしての利用を想定
- 行政既存事業である広報やアンケート調査なども想定

普及事業

chiica
(トラストバンク)



- 普及事業ならびに健康事業などで獲得できる地域通貨の利用基盤
- 地域通貨利用による、地域経済への波及効果を期待

村まるごとデジタル化事業の概要

ポイントキャンペーン

スマホ普及

スマホ購入ポイントキャンペーン

アクティブ率

健康ポイントキャンペーン

スマホ普及

紹介カードキャンペーン

まだスマホを持っていない方へ
今ならchiicaポイントプレゼント!!

30分から申し込み
5,000 円分
4G/LTEから切り替え
(標準月額5,000円未満)
5,000 円分
4G/LTEから切り替え
(標準月額5,000円以上)
12,580 円分
12,580 円分

おすすめ2機種

BASIO4
電話・メールの着信がワン、かんたん文字入力、
長持ちの電池です。

arrows We
みんなの楽しいおしゃべりのために、
超々々arrows Weのシンプルモード、
「Voice」などの活用がおすすめです。

無料

- ガラケーからスマホへの切替え
- 料金見直しや相談
- アプリ設定サービス
- スマホ教室
- スマホの貸出

スマホへ切り替えのご相談は以下の店舗にお問い合わせください。
商品の在庫やご来店のご予約などは一度お電話をお願いします。
※営業日「日高村でスマホに替えたい」

日高村
スマホよろず相談所
日高村赤名23 研修センター内
Tel 070-2300-5030
【平日、日曜回】10:30～17:00
【土曜】9:30～17:00

auショップ
サニーアクシスの
いのり216 サニーアクシスの内F
Tel 088-893-1500
【営業】9:30～21:00
【受付】9:30～19:00

auショップ高岡
土倉市岡岡町495-8
Tel 088-828-5030
【営業】10:00～19:00

スマホ購入の障壁を下げるために、実質0円でスマホ購入できるキャンペーンを実施

歩いて!ポイント貯めて!
お買い物をしよう
キャンペーン

例えば、歩いて健康ポイントを貯めれば
1ポイント=1円としてchiicaが使えます!

たくさん歩けば
1ヶ月で約1200ポイント貯まる!

新しいちゃん
お菓子買ってー!

おばあちゃん
たこ焼き食べよー!

日々の健康活動の記録、歩数に応じてポイントが付与されるキャンペーンを実施

ご紹介カード

今日からあなたも!

スマホを使って生活をより楽しく、より便利に♪

ご相談無料

来店される方のお名前

該当項目にチェック!

- スマホについてのお困りごとの相談
- 村指定のアプリのインストール、設定
- スマホの新規購入、機種変更
- 料金プランの変更、相談、その他

スマ友サポーターとは?

スマホを持つこと、使うことに「ちょっと困った」を
抱えていらっしゃる方に、優しく教えていただける方です。
日常生活の中で、ご無理なくできるちょっとした活動で、
スマホに困った人たちを支援していくサポーターです。

ご自身の
Chiicaの会員コード

ご紹介者のお名前

※ご紹介者は日高村のスマ友サポーターへご登録いたします。

日高村指定
販売所へ

スマホよろず相談所
(保険センター)
高知県高岡郡日高村沖名23番地
☎受付+平日/10:30～17:00 ☎070-2300-5030

auショップ
サニーアクシスの店
高知県高岡郡いのり216の町205
☎受付+毎日/9:30～19:00 ☎088-893-1500

口コミの訴求力を活用して、紹介者に対してポイント付与をするキャンペーンを実施

村まるごとデジタル化事業の概要

出張販売所/よろず相談所（スマホ教室）



村まるごとデジタル化事業の概要

住民向け説明会/個別説明会



全体説明会



本郷地区



沖名地区



加茂地区



能津地区



下分地区

日高村「村まるごとデジタル化事業」サマリー

日高村役場企画課

取組背景及び課題

<背景>

- 少子高齢化、人口減少
- 財源・マンパワー不足
- 経産省「2025年の崖レポート」
⇒DXの推進⇒デジタル庁設立

<目指すべき取り組み>

- デジタル化による住民サービス維持及び増進

<課題>

- 高齢者のテックタッチポイントの確保
- 前提条件：スマートフォンの普及率100%

【具体：解決する課題】

- **ミッション**：DX化の前提条件を整え、住民のエンパワメントを促進することで、ソサエティ5.0社会に向けた準備を完了する。
- **フェーズ0**：スマートフォンの普及率100%およびアクティブ率100%

スマートフォンの普及率100%に関して

- 1位：必要ない
 - 2位：使い方がわからない
 - 3位：価格が高い
- ※令和2年5月アンケート調査の結果より

取組とポイント

<取組>

- **スマホ普及事業**
 - ・説明会やスマホ体験会
 - ・よろず相談所設置、スマホ教室
 - ・総務省デジ活事業の活用
 - ・スマホ購入・ランニングコスト支援
- **生活の質向上事業**
 - ・「健康」「防災」「情報」の3分野に関してスマホ活用した取組
 - ・アプリ設定の支援

【ポイント】

- ・企業版ふるさと納税活用事業
- 【その他連携事業を実施】
- ・デジタル活用支援事業
⇒マイナカード普及促進
- ・県立大学等との共同研究
- ・派生事業：みらくるプロジェクト
- 【表彰】
- ・企業版ふるさと納税
⇒内閣特務大臣表彰
- ・取組
⇒四国情報通信協力会会長賞

成果

調査時点：R2.5 R3.11 R4.6

60代	69.4%	→	84.2%	→	89.5%
70代	40.4%	→	68.1%	→	69.9%
80代	10.9%	→	28.1%	→	33.1%

普及率

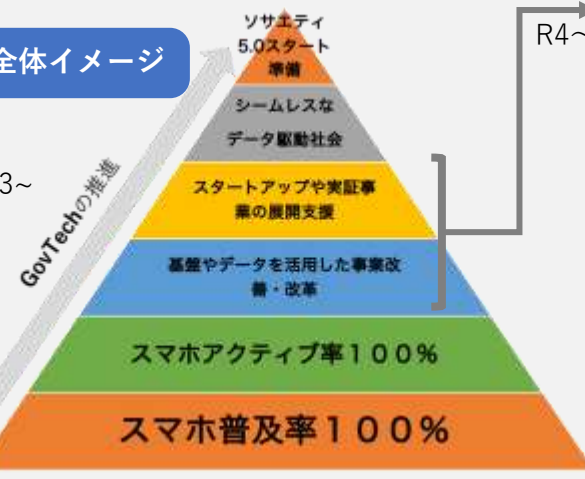
名目…全住民が分母対象に算定
実質…分母から子どもなど除外

実質普及率 86.0%
(R4.6時点)

名目普及率 79.7%

事業実施前
64.5%

全体イメージ



みらくるプロジェクト

事業概要



登録企業：25社
<実績>
R4.8~健康アプリ開発等事業
R5.4~AIコミュニケーションツール実証事業(仮)

御礼：夏のDigi田甲子園

ベスト4



高知県 日高村
日本で初めてスマホ普及率100%を目指す
「村まるごとデジタル化事業」
(取組分野：誰一人取り残されない社会の実現/得票結果3位)

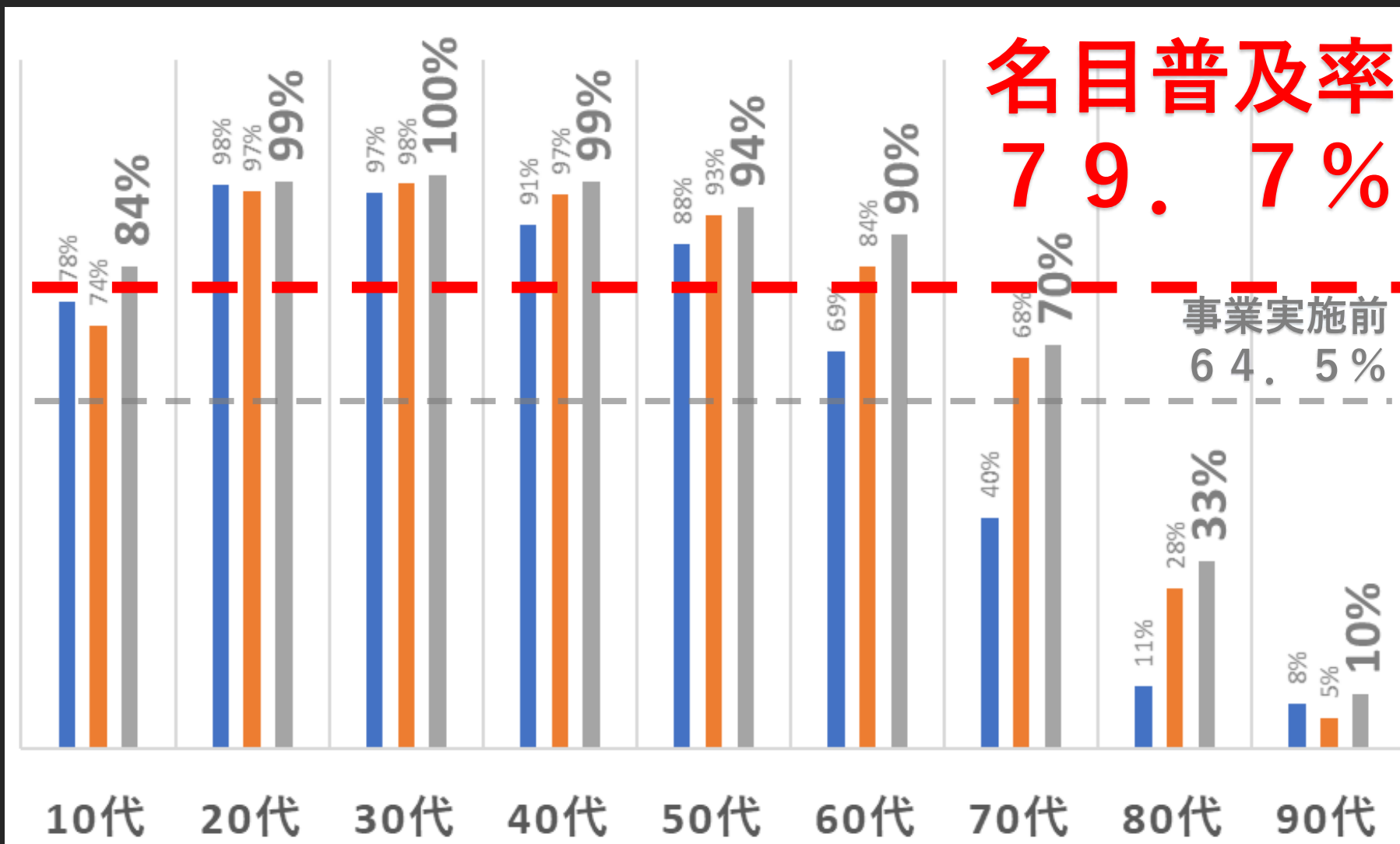
03

成果

日高村「村まるごとデジタル化事業」の成果

調査時点：R2.5 R3.11 R4.6

60代 69.4% → 84.2% → 89.5%
 70代 40.4% → 68.1% → 69.9%
 80代 10.9% → 28.1% → 33.1%



実質普及率

86.0%
(R4.6時点)

名目…全住民が分母対象に算定
 実質…分母から子どもなど除外

派生事業：みらくるプロジェクト

下記の様な企業や団体を募集しています!



自分たちの技術を
村の生活の質の向上に
向けて活用したい!



いまの日高村には自分たち
の持つソリューションで
課題解決ができる!



東京一極集中の状況を
打破するためになにかに
チャレンジしたい!

共通価値

1

フルコースよりお茶漬け



不釣り合いな先端技術ではなく、ちょっと
いい技術でコストも低く味変できる

2

提供価値の向上やコスト削減
による高い顧客価値の創出



提供価値の向上だけでなくコストの削減も
視野にいれる

3

フェアな関係性



当該プロジェクトにかかる関係者との関係
性は、フェアであることが大切

4

アジャイル型で課題解決し、
大切にするのはアジリティ



「早さ」や「柔軟性」が大切

5

人とコミュニティの
エンパワメント



自励力と共励力の向上

6

セレンディビティを
楽しむ



偶然の出会いや、チャンス・発見を楽しみ、
直感を信じて時には方向転換も必要



2023.01.06
Helte、高知県日高村「村まるごと
デジタル化事業」を共同で推進する
連携協定に参画
株式会社Helteは、高知県高岡郡日高村が、
公的サービスの質向上や地域のコミュニ...



2022.12.23
事業採択のお知らせ
令和4年12月1日に高知県日高村まるごとデ
ジタルみらくるプロジェクトにかかる企画...



2022.09.30
健康事業の取組開始とコンソーシ
アム実施体制設立のお知らせ
高知県日高村は、株式会社フォアフロントテ
クノロジーと実証事業展開母体「まるごと...

<実績>

- 包括的連携協定参画
⇒ 2社 (株式会社Liquitous、株式会社Helte)
- 第1弾プロジェクト
⇒ 自治体開発健康アプリ
・コンソーシウム：6者
- 第2弾プロジェクト
⇒ 対話型AIコミュニケーションツール
・コンソーシウム：3者



まるけん

日高村 健康アプリ 「まるけん」 サービス開始

リリースから
4ヶ月で

700名以上

の住民が利用

特徴

元デジタルディバイト層だった住民の意見を反映して、誰でも使いやすく、今後一緒に利用いただける自治体や住民の意見を反映することも視野に入れた

シンプルな機能

健康アプリ「まるけん」とデジタル地域通貨「chiica」のシステム連携により毎日貯まるポイント

最大
1,000ポイント/月

効果の見える化や複数の自治体で共同利用していくことで更に高まる

高い持続可能性

04

終わりに

サマリー

社会全体がDX化を実現するには

DXの前提条件： スマホの普及率100%

定義の設定

デジタルディバイド層の**具体的定義**と
具体的にそれが**解消された状態の定義**

課題

マインド：支援する側もされる側も

実施して
わかったこと

高齢でも新しいことは楽しい⇒**心の自転車**
支援側が人間の可能性を信じることが大切

したいこと

エンパワメント

自助力向上⇒新しい共助の形⇒公助の役割変化

今後の取組について

スマートフォンの普及の促進：90%目標（11月頃）

- ・マイナンバー普及とスマートフォン普及、活用支援を一体事業として実施予定

デジタルデバイド解消を自治体横断で取組む新スキームの構築
（8月7日詳細発表予定）

- ・日高村PRTIMES：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000032.000033931.html>
- ・現在、ふるさと財団「地域イノベーション連携モデル事業」を活用して構築中
- ・自治体および企業様、それぞれの賛助会員の募集予定